＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	とやまのかいて木な家
グループの名称	富山の快適すまいづくりの会
直近採択グループ番号	06-0496-0340

（グループ代表者）

代表者名	大日方　竹彦	代表者印
代表者所属先	株式会社マイホーム	
代表者所在地	富山県富山市下野新６３－１	
代表者電話番号	076-441-1063	

（グループ事務局）

事務局事業者名	ヤマイチ株式会社	
事務局担当者名	河内　満晴	印
事務局郵便番号	930-0173	
事務局所在地	富山県富山市野口812	
事務局電話番号	076-436-0231	
事務局FAX	076-436-0254	
事務局担当者E-mail	yamaichi@h1s.jp	

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	とやまのかいて木な家
２．グループの名称(必須)	富山の快適すまいづくりの会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0496-0340
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	富山県
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	大日方　竹彦
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社マイホーム
８．グループ代表者所在地(必須)	富山県富山市下野新63－1
９．グループ代表者電話番号(必須)	076-441-1063
１０．グループ事務局事業者名(必須)	ヤマイチ株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	河内　満晴
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	930-0173
１３．グループ事務局所在地(必須)	富山県富山市野口812
１４．グループ事務局電話番号(必須)	076-436-0231
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	076-436-0254
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	yamaichi@h1s.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	20	原木供給事業者が海外の場合、期限での念書の入手が困難のため登録をしていない。
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	24	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	6	
Ⅳ．プレカット	8	伝統工法を差別化にしている事業者においては手刻みで対応するため、プレカット事業者を介さない場合がある
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	43	
Ⅶ．木材を扱わない流通	0	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	2	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上))の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
			未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		13	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	49	棟	
				㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	13	棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	

E．平成２９年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
原木供給事業者が海外の場合、期限での念書の入手が困難のため登録をしていない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ － 31	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
13	Ⅰ － 32	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
34	Ⅰ － 33	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目-1-1	0823-71-7141
38	Ⅰ － 34	いしづち森林組合		793-0030	愛媛県西条市大町1211番地	0897-56-0180
38	Ⅰ － 35	八幡浜官材協同組合		795-0086	愛媛県大洲市成能字大地原甲510番5	0893-50-1250
29	Ⅰ － 45	西垣林業株式会社		633-0064	奈良県桜井市戒重137番地	0744-46-3939
17	Ⅰ － 46	石川県森林組合連合会		920-0209	石川県金沢市東蚊爪町1丁目23番地	076-237-0121
17	Ⅰ － 47	かが森林組合		923-0181	石川県小松市長谷町ヨ244	0761-46-1341
17	Ⅰ － 48	金沢森林組合		920-1301	石川県金沢市永安町77	076-229-1131
44	Ⅰ － 59	日田市森林組合		877-0076	大分県日田市大字庄手850-5	0973-23-5168
38	Ⅰ － 60	株式会社宇和原木市場		797-0044	愛媛県西予市宇和町加茂323	0894-62-2851
45	Ⅰ － 61	都城地区製材業協同組合		885-1103	宮崎県都城市上水流町2878番地	0986-36-3010
16	Ⅰ － 69	富山県森林組合連合会		930-2226	富山県富山市八町6931	076-434-3351
16	Ⅰ － 70	富山県西部森林組合		939-1732	富山県南砺市荒木1230番地	0763-52-0670
16	Ⅰ － 71	婦負森林組合		939-2337	富山県富山市八尾町梅苑町1-95-1	076-454-5131
16	Ⅰ － 72	野村木材株式会社		932-0211	富山県南砺市井波3222	0763-82-0870
33	Ⅰ － 73	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1	0867-42-0602
33	Ⅰ － 74	江与味製材株式会社		709-3415	岡山県久米郡美咲町江与味1113	0867-27-2014
30	Ⅰ － 77	山長林業株式会社		646-0011	和歌山県田辺市新庄町2015	0739-22-1779
30	Ⅰ － 78	株式会社山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
13	Ⅱ － 32	協和木材株式会社		135-0016	東京都江東区東陽5丁目30番13号東京原木会館	03-5857-5225
38	Ⅱ － 35	八幡浜官材協同組合		795-0086	愛媛県大洲市成能字大地原甲510番5	0893-50-1250
33	Ⅱ － 36	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
34	Ⅱ － 37	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
38	Ⅱ － 39	株式会社サイプレス・スナダヤ		799-1101	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1	0898-72-2421
33	Ⅱ － 40	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209番地	0867-44-2695
29	Ⅱ － 41	株式会社櫻井		639-3114	奈良県吉野郡吉野町丹治15番地の1	0746-32-0563
34	Ⅱ － 42	東亜林業株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3丁目2番20号	084-933-5150
29	Ⅱ － 45	西垣林業株式会社		633-0064	奈良県桜井市戒重137番地	0744-46-3939
17	Ⅱ － 47	かが森林組合		923-0181	石川県小松市長谷町ヨ244	0761-46-1341
17	Ⅱ － 48	金沢森林組合		920-1301	石川県金沢市永安町77	076-229-1131
17	Ⅱ － 49	南加賀木材協同組合		923-0336	石川県小松市那谷町金1	0761-65-3900
23	Ⅱ － 50	太陽木材工業株式会社		470-0371	愛知県豊田市御船町奥山畑1番地	0565-45-3456
17	Ⅱ － 51	株式会社角永商店		920-2126	石川県白山市鶴来新町ソ25番地	076-272-1221
44	Ⅱ － 63	株式会社小田製材所		877-0082	大分県日田市日ノ出町131	0973-22-6965
38	Ⅱ － 64	菊地木材株式会社		797-0035	愛媛県西予市宇和町河内94番地	0894-66-0933
45	Ⅱ － 65	外山木材株式会社		885-0075	宮崎県都城市八幡町18街区7号	0986-22-0176
24	Ⅱ － 67	株式会社FLT三重		518-1155	三重県伊賀市治田5388-1	0595-20-2202
16	Ⅱ － 71	婦負森林組合		939-2337	富山県富山市八尾町梅苑町1-95-1	076-454-5131
16	Ⅱ － 72	野村木材株式会社		932-0211	富山県南砺市井波3222	0763-82-0870
33	Ⅱ － 74	江与味製材株式会社		709-3415	岡山県久米郡美咲町江与味1113	0867-27-2014
33	Ⅱ － 75	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
30	Ⅱ － 78	株式会社山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
7	Ⅱ － 81	株式会社キクモク		972-8312	福島県いわき市常磐下船尾町杭出作170	0246-43-1234
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
13	Ⅲ － 38	株式会社ザイエンス		100-0005	東京都千代田区丸の内2丁目3番2号	03-3284-0501
17	Ⅲ － 52	金沢木材協同組合		920-0211	石川県金沢市湊1丁目79番地	076-237-5566
16	Ⅲ － 68	株式会社富山合同木材市場		930-0835	富山県富山市上冨居118番地27	076-452-1155
16	Ⅲ － 72	野村木材株式会社		932-0211	富山県南砺市井波3222	0763-82-0870
16	Ⅲ － 79	南陽吉久株式会社		933-0003	富山県高岡市能町750	0766-25-1100
16	Ⅲ － 98	ヤマイチ株式会社		930-0173	富山県富山市野口812	076-436-0231
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
伝統工法を差別化にしている事業者においては手刻みで対応するため、プレカット事業者を介さない場合がある

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
8	Ⅳ － 43	ポラテック株式会社		306-0606	茨城県坂東市幸田小生田山297-1	0297-35-7100
25	Ⅳ － 44	ポラテック西日本株式会社		520-3405	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17	0748-88-6551
17	Ⅳ － 52	金沢木材協同組合		920-0211	石川県金沢市湊1丁目79番地	076-237-5566
16	Ⅳ － 68	株式会社富山合同木材市場		930-0835	富山県富山市上冨居118番地27	076-452-1155
16	Ⅳ － 76	富山中央木材株式会社		930-0807	富山県富山市下新西町1番35号	076-432-1661
16	Ⅳ － 80	株式会社ウッディパーツ		933-0003	富山県高岡市能町750	0766-28-2222
15	Ⅳ － 82	株式会社タツミ		954-0087	新潟県見附市芝野町1232-1	0258-66-5515
16	Ⅳ － 85	チューモク株式会社		939-1704	富山県南砺市田中793	0763-52-2808
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅴ＞

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
16	Ⅴ － 29	濱田修建築研究所		930-0093	富山県富山市内幸町７－１	076-441-3133	○	
16	Ⅴ － 30	上田建築設計事務所		930-0887	富山県富山市五福５３１番地	076-432-8773	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							43	○	○
16	Ⅵ - 3	73047	青山工務店		930-2206	富山県富山市金山新12番地	076-435-6201	○	
16	Ⅵ - 4	72910	セキホーム株式会社		939-8075	富山県富山市今泉167番3	076-482-5514	○	
16	Ⅵ - 5		岩脇建築		939-0301	富山県射水市稲積356	0766-55-4601		○
16	Ⅵ - 6	73062	島田建設工業株式会社		939-0506	富山県富山市水橋大町8－2	076-478-0234		○
16	Ⅵ - 7	73057	池上工務店有限会社		930-0952	富山県富山市町村265	076-424-5415	○	
16	Ⅵ - 8	72993	株式会社山下ホーム		937-0017	富山県魚津市江口567－1	0765-24-9116	○	
16	Ⅵ - 9	72995	株式会社匠建設		938-0021	富山県黒部市古御堂101-3	0765-52-5237	○	
16	Ⅵ - 10	73079	野末建築		936-0865	富山県滑川市七口1730	076-475-6361	○	
16	Ⅵ - 11	73040	酒井住宅　株式会社		937-0807	富山県魚津市大光寺93	0765-24-3739	○	
16	Ⅵ - 12	73123	颯創建		937-0061	富山県魚津市仏田2604	0765-22-6530	○	
16	Ⅵ - 13	72914	テバヤシ建築		934-0013	富山県射水市立町2-46	0766-84-5754	○	
16	Ⅵ - 14	73028	五十嵐建設株式会社		930-2206	富山県富山市金山新330番地の1	076-435-1714	○	
16	Ⅵ - 15	72936	株式会社　丸和		930-0835	富山県富山市上冨居1丁目7番2号	076-411-5808	○	
16	Ⅵ - 16	72998	株式会社城宝工務店		939-1511	富山県南砺市高堀330番地	0763-22-4115	○	
16	Ⅵ - 17	73078	野島建設　株式会社		937-0045	富山県魚津市相木830	0765-24-6330	○	
16	Ⅵ - 18	72937	株式会社　小椋建築		939-2243	富山県富山市中大久保21番地3	076-467-1793	○	
16	Ⅵ - 19	72929	家印株式会社		939-0744	富山県下新川郡朝日町平柳240－2	0765-33-5189		○
16	Ⅵ - 20	73106	有限会社マーキー建築設計		937-0823	富山県魚津市湯上1088－2	0765-24-9311	○	
16	Ⅵ - 21	73059	中山建築工房		930-0362	富山県中新川郡上市町稗田60－4	076-461-6234	○	
16	Ⅵ - 22		株式会社藤井建設工業		939-2253	富山県富山市八木山315番地1	076-461-4622		○
16	Ⅵ - 23	72967	株式会社スギモリ		930-0275	富山県中新川郡立山町利田2477	076-463-0660	○	
16	Ⅵ - 24	73018	株式会社夢創建		933-0806	富山県高岡市赤祖父200	0766-27-6000	○	
16	Ⅵ - 25	73006	株式会社赤井建設		932-0862	富山県射水市海老江七軒1491	0766-86-0071	○	
16	Ⅵ - 26	73017	株式会社北陸総合建設		939-8212	富山県富山市掛尾町230－1	076-491-1491	○	
16	Ⅵ - 27	73055	谷口建築		939-2302	富山県富山市八尾町杉田675－2	076-455-2514	○	
16	Ⅵ - 28	72966	株式会社すぎはら建築工房		939-1567	富山県南砺市福野1537－1	0763-22-1537	○	
16	Ⅵ - 53	72973	株式会社ハウジング丸高		934-0032	富山県射水市片口374－1	0766-83-0378		○
16	Ⅵ - 54	73005	株式会社星良工務店		936-0806	富山県滑川市北野170	076-475-5610	○	
16	Ⅵ - 56	73093	有限会社　飯倉工務店		931-8405	富山県富山市海岸通227番地	076-438-3430		○
16	Ⅵ - 57	72932	株式会社　すまいるほーむ		939-8015	富山県富山市中川原334	076-421-1441	○	
16	Ⅵ - 58		横道建築企画		939-2202	富山県富山市小黒785番地	076-468-0282	○	
16	Ⅵ - 86	72979	株式会社プロデュース		934-0093	富山県高岡市姫野530番地1	0766-82-1611	○	
16	Ⅵ - 87	72962	株式会社オリバー		939-8211	富山県富山市二口町3丁目2－14	076-492-6628	○	
16	Ⅵ - 88	73101	有限会社ナカムラ		939-2741	富山県富山市婦中町中名1293	076-466-3752	○	
16	Ⅵ - 89	73110	有限会社建築工房想庵		930-0221	富山県中新川郡立山町前沢2180番地1の2	076-462-8055	○	
16	Ⅵ - 90		株式会社村田工務店		939-2252	富山県富山市上大久保2170	076-467-0087	○	
16	Ⅵ - 91	72898	BASE菅野建築株式会社		939-8214	富山県富山市黒崎102番地の1	076-422-4551		○
16	Ⅵ - 92	73056	谷内建築株式会社		939-2251	富山県富山市下大久保1012-1	076-461-4306		○
16	Ⅵ - 93	73085	有限会社　宮崎工務店		930-0032	富山県富山市栄町一丁目7番13号	076-423-2642	○	
16	Ⅵ - 94	73105	有限会社ベストホーム		930-0218	富山県中新川郡立山町二ツ塚85番地1	076-463-3355	○	
16	Ⅵ - 95	73074	平野工務店　株式会社		938-0014	富山県黒部市植木758番地2	0765-52-1636	○	
16	Ⅵ - 96	73031	巧　株式会社		930-0991	富山県富山市新庄銀座二丁目19－34	076-452-3638	○	
16	Ⅵ - 97	72969	株式会社タケダ建創		930-0066	富山県富山市千石町六丁目1番7号	076-493-4321	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
16	Ⅵ－ 3	73047	青山工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 4	72910	セキホーム株式会社	19 戸	26 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
16	Ⅵ－ 5		岩脇建築	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 6	73062	島田建設工業株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 7	73057	池上工務店有限会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 8	72993	株式会社山下ホーム	48 戸	46 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 9	72995	株式会社匠建設	8 戸	11 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	
16	Ⅵ－ 10	73079	野末建築	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 11	73040	酒井住宅 株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 12	73123	颯創建	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 13	72914	テバヤシ建築	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 14	73028	五十嵐建設株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 15	72936	株式会社 丸和	36 戸	35 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
16	Ⅵ－ 16	72998	株式会社城宝工務店	2 戸	2 戸	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 17	73078	野島建設 株式会社	37 戸	30 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
16	Ⅵ－ 18	72937	株式会社 小椋建築	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 19	72929	家印株式会社	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 20	73106	有限会社マーキー建築設計	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 21	73059	中山建築工房	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 22		株式会社藤井建設工業	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 23	72967	株式会社スギモリ	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 24	73018	株式会社夢創建	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 25	73006	株式会社赤井建設	8 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
16	Ⅵ－ 26	73017	株式会社北陸総合建設	12 戸	10 戸	3 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
16	Ⅵ－ 27	73055	谷口建築	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 28	72966	株式会社すぎはら建築工房	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
16	Ⅵ－ 53	72973	株式会社ハウジング丸高	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 54	73005	株式会社星良工務店	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
16	Ⅵ－ 56	73093	有限会社 飯倉工務店	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 57	72932	株式会社 すまいるほーむ	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	6 戸	3 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上		○	○
16	Ⅵ－ 58		横道建築企画	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 86	72979	株式会社プロデュース	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	2 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	4以上			
16	Ⅵ－ 87	72962	株式会社オリバー	11 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 88	73101	有限会社ナカムラ	7 戸	7 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 89	73110	有限会社建築工房想庵	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 90		株式会社村田工務店	5 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 91	72898	BASE菅野建築株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 92	73056	谷内建築株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 93	73085	有限会社 宮崎工務店	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 94	73105	有限会社ベストホーム	11 戸	11 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
16	Ⅵ－ 95	73074	平野工務店 株式会社	14 戸	15 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 96	73031	巧 株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
16	Ⅵ－ 97	72969	株式会社タケダ建創	3 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 1	一般社団法人 全国住宅産業地域活性化協議会		140-0032	東京都中央区八丁堀3-1-9 京橋北見ビル西館 7F	03-3537-0287
13	Ⅷ － 2	株式会社 住宅あんしん保証		104-0031	東京都中央区京橋1-6-1 三井住友海上テプコビル6階	03-3562-8120
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）とやまのかいて木な家	（地域型住宅供給対象地域）富山県
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）富山の快適すまいづくりの会	（結成年）2012 年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0496-0340	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	富山県は夏暑く冬寒い気候である。そのため夏冬はしっかり断熱をし、少ない消費エネルギーで冷暖房の効果が発揮できるようにする必要がある。最低でも性能表示制度の温熱等級4以上の高い断熱性能を求める。　また一年を通じて多湿な地域であるため湿度のコントロールが重要である。（年平均相対湿度は77%で全都道府県中1位である。）　そのために断熱のみならず気密性能を上げ、空気の出入りをコントロールできる性能が重要である。さらに多湿な地域故、壁体内に湿った空気が侵入し壁体内結露を起こすことを防ぐことが大変重要である。このことからも気密性能を重視する。C値5.0以下とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏暑く冬寒く多湿な気候の中で快適に暮らすために断熱気密性能の高い家を地域型住宅と定義するが、建築時のみの性能であっては意味がない。特に高い湿度は壁体内結露を起こし経年劣化を生みやすい要素である。そのことから建築時に気密性を担保するために気密測定を行う。竣工時の気密性能でC値5.0以下とする。　そして木材が乾燥収縮して建築時の気密性が失われることを防ぐために乾燥材の仕様を義務付ける。JAS規格のSD20相当の乾燥材を構造材に使用するものとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏暑く冬寒い気候の為、夏冬は断熱気密性能を重視し省エネルギーで快適性を実現することを目指すが、春秋は日本家屋の開放的な生活を楽しむために、自然の風が屋内に通風するよう通風性能を求める。　特に地域の風向きは南北の風にへだたる。そのため南北の風が通風するよう南面のみならず北面の開口部を意識的に設けるようにする。その上で通風シミュレーションを行い、通風を確認することとする。	◎
④ ①～③の背景	富山県は気温は東京に比して、平均気温は夏はほとんど変わらず冬は3℃ほど低い、夏暑く冬寒い気候である。　さらに年平均降水量は東京の1405mmに対して富山では2295mmとなり、それとあいまって年間相対湿度平均が77%である。1年を通じてどの季節も平均湿度が70%を下回ることはほとんど無い多湿型の気候である。この年間相対湿度平均の高さは全都道府県中1位の高さである。そのため近年は高気密高断熱の住宅が相当割合まで普及したが、本来は日本家屋の開放的な生活を好む地域でもある。夏冬の快適性と省エネルギー性を重視しつつ、春秋の気候を楽しむすまいが求められる。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	いかに新築時に高い性能と快適性を持っていても、適切な維持管理を行わなければ経年と共に劣化し性能・快適性共に失われていく。本来戸建て住宅も集合住宅と同じように新築時から長期に渡る修繕計画とそれに伴う予算計画が必要であるが、現状戸建て住宅に関しては作成は任意であるためほとんど準備されず、メンテナンスは計画にならない随時となっていることが主流である。こうした現状が将来における戸建て住宅の財産価値を低下させる原因と考え、当地域型住宅では新築時に修繕計画および予算計画を作成し施主に交付するものとする。作成に関しては一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会が作成した「住まいのライフサイクルコスト計算シート」を使用するものとする。	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：主要構造材の寸法は基本流通している既製品寸法を選択する。また既製品外の寸法を採用する場合、集成材や乾燥材の使用を推奨する。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：意匠委員会に置いて地域型住宅にふさわしい建材・住設を選定し、その推奨建材をリスト化し、データベース上で共有する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：未経験工務店のサポートを考え標準モデル仕様を作成済。　間取り等のみの変更で地域型住宅を設計できるように準備している。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：標準仕様表を作成し標準価格をデータベースにて共有している。ただし購入先の指定はせず任意としている。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：標準仕様表を作成し標準価格をデータベースにて共有している。ただし購入先の指定はせず任意としている。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：地域に根差したデザイン・仕様を検証する意匠委員会が、意匠面・品質とコストのバランスのとれた製品を探索し推奨する。執行部にて地域材および地域型住宅の性能に関わる資材の手配方法の合理化を図る。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：会員サポートWEBの管理者として、地域型モデルプランをアップする。さらに地域材流通情報・推奨資材情報等をアップする。また未経験施工会員向けに簡易にできる耐震等級チェックナビ・外皮計算ナビを提供し活用サポートも行う。さらに長期優良住宅および認定	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：当グループでは当地域型住宅を検査し住宅瑕疵担保保険を付保する㈱住宅あんしん保証の認定品質住宅制度の利用が可能となっている。この制度は個々の住宅の施工基準を通常の瑕疵担保保険基準より上位の基準を設けている。さらにはグループの品質管理の取組も認可基準としている。この認定品質住宅制度の利用を義務化し、制度の基準を地域住	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：「あんしん検査」（住宅あんしん保証検査体制：長期優良住宅、認定低炭素住宅）を利用し、上位基準である認定品質住宅の認定を受ける。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：見積・積算ルールを策定しサポートWEB上にアップする。　共通見積書フォーマットをWEB上にアップしエンドユーザーへの見積もり書を統一する。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：消費者保護の為「住宅完成保証制度」（住宅あんしん保証）を求められた際は付保することとし安心を訴求する。住宅瑕疵担保保険を付保する㈱住宅あんしん保証の認定品質住宅制度を利用することで受けられる保険料の優遇をエンドユーザーに提供する。このタイミングで、認定品質住宅制度は個々の住宅の施工基準も高くさらにはグループの品質管理の取組も認可基準となっていることを説明し、そしてその対価として保険料の割引を受けている旨を訴求することで信頼向上していく。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：季節要因の強い地域であることから、各週における週休2日は困難と考え、年間での休日の確保を目指す。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会と連携し、担い手育成事業に将来的に参画していく。	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある →	内容：職人マイナンバー制度の利活用を検討する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：健康企業宣言富山推進協議会の「とやま健康企業宣言」事業にまず役員・事務局企業が取組み、会への普及を図る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域型住宅の性能を財産価値があるものとしていくために、引き渡し後のメンテナンス制度を整備する。受け手であるエンドユーザーの意識、特に費用を負担しつつ価値を守るという責任意識も大切なため、引き渡し時に集合住宅と同様の長期修繕計画を作成し将来的に必要なコストを明示してじ準備してもらう。その上でメンテナンスを単なるサービスではなくエンドユーザーと共同で地域型住宅を維持する事業として行っていく。また一般的な瑕疵担保期間のメンテナンス期間に留まらず長期の保証をしていくことを目指す。よって住宅瑕疵担保保険法人の発売した10年後延長保証の利用を促進する。				◎

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）とやまのかいて木な家	（地域型住宅供給対象地域）富山県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）富山の快適すまいづくりの会	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0496-0340	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：「いえかるて」（第三者住宅履歴管理システム）の利用をルールとする。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：メンテナンス漏れを防ぐ機能を備えた「あんしんいえかるて」（住宅あんしん保証)を推奨する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴情報を登録した際に発行される「住宅履歴情報預り表」のコピーの提出を義務付ける。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：全国住宅産業地域活性化協議会の「住まいのライフサイクルコスト計算シート」を使用する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：全国住宅産業地域活性化協議会の「住まいのライフサイクルコスト計算シート」を使用する。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：「あんしんいえかるて」の定期メンテナンスアラートをのみならず事務局にも同時発信する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：長期修繕計画策定およびソフト活用の勉強会を行う	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：維持管理の内、ユーザー自らによるメンテナンス項目の講習会を実施していく。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：地域型住宅の各種優遇制度である住宅ローン（フラット35S）や税制等の勉強会を実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：長期修繕計画策定セミナーを行う。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：事務局による維持管理を行うことが困難な会員に代わる、維持管理を代行する仕組みの実施。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：事務局による維持管理を行うことが困難な会員に代わる、維持管理を代行する仕組みの実施。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：住宅あんしん保証より瑕疵事例の提供を受け、それを防ぐ維持管理の講習を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			当会は一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会を通じてJTI（移住住み替え支援機構）の制度利用が可能となっており、そのうちの「かせるストック」を付保できるように体制整備を図っておく。「かせるストック」付保住宅は適切な維持管理を行えば、将来必要とあれば多世代にわたって収益物件に転用することが、可能となる制度である。この「かせるストック」を付保することにより客観的に資産となる住宅と評価され、また訴求することができる。「かせるストック」の」利用を推奨する。			○

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：当地域型住宅のモデルプランを用意し、部分変更にて地域型住宅を施工可能となる勉強会を行	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：構造材のJIS規格SD20使用義務化・気密測定および隙間相当面積C値5.0以下の義務化	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：・構造材の納品書提出確認・気密測定士による気密測定書の提出確認	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：中期的（3年）には施工会員全員が地域型住宅を1棟施工することを目指す。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅・ZEH設計が施工会員全員が可能になるよう技術研修を行う。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：合理的長期優良住宅・ZEH住宅を建設すべく業種別に資材・工法を推奨する。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　37		今年度の参加目標人数　44	◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　0		今年度の参加目標人数　24	◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：未受講会員をリスト化し全会員の受講を目指す。	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：「住まいのライフサイクルコスト計算シート」の普及	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：共通見積もりフォーマットの整備に取り組む	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			サポートWEB上に長期優良住宅設計支援ツールや簡易外皮計算ナビゲーションなどが利用可能となっている。コンテンツを増やし地域型住宅の設計が負担にならないようなものとしていく。さらに外皮計算を事務局で代行できる体制を構築する。			◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）とやまのかいて木な家	（地域型住宅供給対象地域）富山県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）富山の快適すまいづくりの会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0496-0340	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	使用する地域材は合法木材とし、合法木材認証で証明する。国産材に限定せず国外(海外)も対象とする。地域材は集成材又は乾燥材の使用を徹底し、その含水率はJAS規格のSD20相当とする。地域材の使用部位は、土台、柱、梁、桁とし、主要構造材の50%以上を使用するものとする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	地域材は原木事業者、製材・集成材・合板製造事業者、建材流通業者、プレカット事業者を通し施工事業者に供給されるが、一部の事業者を介さない場合がある。合法木材の一部においては、産地・出荷者が多岐に渡り原木事業者の特定が困難な場合があり、その場合は出荷者に合法性の証明にて対応する。施工事業者において伝統工法を採用されている場合、プレカット事業者を介さない。	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　定期的にⅣプレカット事業者との情報共有を図り、その情報をⅥ施工事業者へ情報発信する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：　定期的にⅣプレカット事業者との情報共有を図り、その情報をⅥ施工事業者へ情報発信する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　主要構造材の地域材の割合は、40坪/棟当たり13㎥程度をする。15棟の供給を目指し、その場合の地域材供給量は195㎥となる。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　春秋は気密住宅とせず通風を取り入れることを目指し、和室の採用を推奨する。	○
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：　合理的に耐震性能を向上させるにあたり、和瓦の使用は推奨しない。	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　春秋は気密住宅とせず通風を取り入れることを目指し、和室の採用を推奨する。	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　春秋は気密住宅とせず通風を取り入れることを目指し、和室の採用を推奨する。	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　塗り壁の吸放湿効果は多湿地域てある当地にとって大変有効である。吸放湿効果のある塗料および下地材を推奨する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　富山の伝統的な意匠として屋内空間の開放性がある。具体的な例としては（二間続きの広間があげられる。）このような意匠は耐震性と相反関係にあることから開口フレームの使用をうながし両立を図る。	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　富山の伝統的なデザインは広い掃き出しの開口部があり採光性・通風性に優れることが特徴である。この大開口と耐震性・省エネ性とはトレードオフの関係にある。それを解消するための門型フレームや高性能サッシを推奨する。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　富山の一部地域では「あずまだち」と呼ばれる隣家と距離を置く伝統的な一軒家がある。近隣に日射遮蔽をする建築物はないため、外構業者と連携し落葉樹を活用した夏は日射を遮り冬は日射を取得する外構モデルを提案するする。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　伝統的に富山は木造住宅の持ち家が圧倒的に多い地域である。結果として古来の木造住宅の街並みも多い。その中で近年工業化されたサイディング等の建材の中より意匠委員会で検討した整合性をとりつつ使用できる材料を提案する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：　省エネ性向上のため日射コントロールが重要である。その観点からよしず・すだれの中で意匠性と省エネ性にすぐれたものを意匠委員会で提案する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		住宅を地域の財産とし、地域の生活満足度を上げることを目指す。そのために「住まいのライフサイクルコスト計算シート」の利用を促進する。 結果としてエンドユーザーは住宅の資産価値が維持でき、施工業者は客を生涯顧客化することによりストック需要をを取り込める。このWIN-WINの形を構築することをグループの目標とする。	◎

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	地域型住宅に使用する合板類を東北合板共同組合傘下の合板工場にて製造したものとする。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	消費税の駆け込み需要により資材不足が生じた際は、代替品の利用に努め、復興の妨げにならないようにする	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）とやまのかいて木な家	（地域型住宅供給対象地域）富山県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）富山の快適すまいづくりの会	（結成年）2012 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0496-0340	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・気密性能が相当隙間面積2.0cm²／m²を目指す。全棟気密測定を実施、気密測定結果報告書を作成提出し、計算値だけでなく測定値での住宅の性能を提供しお客様への安心を提供する。
・換気システムにおいて第1種システムか第3種システムを使用し、消費電力の削減に努める。
・燃焼しても体に有害な物質の出ない断熱材を使用する。
・断熱材はλ=0.034以下、サッシはU=2.33以下の高性能の商品を使用し、気密性・断熱性の高い住宅を目指し、一次エネルギー消費量の削減に努める。
・照明器具はLED照明を使用し、一次エネルギー消費量の削減に努める。
・サッシはLow-Eガラスを使用し、夏の日射熱削減に努める。
・太陽光発電システムは発電効率の良いシステムを採用し、住宅に搭載する太陽光パネルモジュールの枚数をできるだけ少なくし、躯体への荷重負担を軽減する。
・暖房・冷房機器は一次エネルギー量の多い蓄熱機器を使用せず、ヒートポンプ式機器を使用し、一次エネルギー消費量の削減に努める。
・節湯・節水の水栓機器を使用し、使用水量の低減に努める。（省エネ住宅ポイント制度において節湯水栓の認証を受けたものとする）
・建築時のみではなく、経年時の省エネルギー性を確保するため、定期点検管理システム〈すまいのサポートサービス〉の利用に努め、適切な維持管理をすることにより経年劣化を抑える。この〈すまいのサポートサービス〉は定期点検時期をアラートするだけでなく、エンドユーザーと施工会員の点検アポイントまでフィックスするもので、点検漏れを防ぐことができる。更に点検がなされなかった場合は事務局に報告されるため、グループとして管理される。
・経年における木材の乾燥収縮による断熱欠損を防ぐために構造材にJAS規格SD20相当を使用するものとする。
・上記の各要件は、地域型住宅の高い省エネルギー性能を確保するために必要なものではあるが、イニシャルコストがアップする要素であることは間違いない。
　エンドユーザーには性能は良いが高コストの住宅とのイメージを持たれることは地域型住宅にはマイナスである。そこで当グループでは地域型住宅の提案時にライフサイクルコストのシュミレーションの提示を行い、高い省エネルギー性によりランニングコストを削減しイニシャルコストのアップをクリアすることを明示する。
　このライフサイクルコストシュミレーションには、各種税制優遇や金利優遇(フラット35S)等の国の施策も盛り込み、地域型住宅が環境にも家計にも優しい住宅であることを訴求する。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。